

薬学実習 1

| | | | |
|--------------|--------------------------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 生体防御学講座 大橋 綾子 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 微生物薬品創薬学講座、生体防御学講座、細胞病態生物学講座、機能生化学講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分・時間数 | 実習 72 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |
| 単 位 数 | 3 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

薬学実習 1 では、生化学、細胞生物学、微生物学等に関連する各講義で学ぶ事柄や、各専門分野において必要となる知識と技能について、実験を通じて理解し身につけるとともに、実験結果を総合的に考察し、レポートを作成する能力を育成することを目的とする。

・成績評価方法

各実習における評価を総合して全体の評価とする。

・予習復習のポイント

担当講座からの指示が記されている場合は、それに従うこと。記載がない場合は、各実習時期に担当講座の指示に従うこと。

特記事項・その他

実習内容に関連した企業の工場見学を下記日程にて実施する。

・ 11 月 26 日（水）3～4 限

・ 11 月 27 日（木）1～4 限

詳細については別途指示します。

(微生物学実習-1)

| | | | |
|--------------|---------------------|--------|---------|
| 責任者・コーディネーター | 微生物薬品創薬学講座 上原 至雅 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 微生物薬品創薬学講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分・時間数 | 実習 18時間 |
| 期 間 | 後期 | | |

・一般目標 (GIO)

感染症の予防や化学療法に応用できるようになるために、滅菌・消毒、微生物の取扱い方、代表的な細菌の同定法の基礎知識と技能を習得する。

・到達目標 (SBO)

1. 主な消毒・滅菌法を実施できる。
2. 無菌操作を実施できる。
3. グラム染色を実施できる。
4. 代表的な細菌を分離し同定できる。

・講義日程

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|------------|---------------------------------|-----------------------|
| 11/7 | 金 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | 全体説明、器具と培地の滅菌 分離培養 |
| 11/10 | 月 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | 純培養 |
| 11/11 | 火 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | グラム染色 |
| 11/12 | 水 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | 確認培養 |
| 11/13 | 木 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | 抗生物質感受性試験 |
| 11/14 | 金 | 3・4 | 微生物薬品創薬学講座 | 上原 至雅 教授 西谷 直之 講師 奥 裕介 助教 | まとめと後片付け |

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|--|---------|------------------------|------|
| 参 | やさしい微生物学 | 関水和久 編著 | 廣川書店 (定価 2,800 円) | 2011 |
| 参 | スタンダード薬学シリーズ4 「生物系薬学Ⅰ 生命体の成 り立ち」 | 日本薬学会 編 | 東京化学同人 (定価 4,100 円) | 2005 |

・成績評価方法

レポート 40%、実習態度 30%、実習試験 30%の配分で評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|---------------------------------------|----|-------------|
| 実習 | 学生実習用顕微鏡 (オリンパス、CX31N-11) | 80 | グラム染色の観察のため |
| 実習 | 大型振とう培養器 (タイテック、BR-3000LF) | 2 | 細菌培養のため |
| 実習 | 精製水調製装置 (ミリポア、Elix UV35) | 1 | 培地、試薬の調製のため |
| 実習 | 冷凍冷蔵庫 (三洋電機、MPR-414F) | 1 | 培地、薬品保管のため |
| 実習 | オートクレーブ (トミー精工、ES-215) | 6 | 培地の滅菌のため |
| 実習 | 乾熱滅菌器 (三洋電機、MOV-212S) | 2 | 実験器具の滅菌のため |
| 実習 | 低温恒温 (クロマト) チャンバー (EYELA、FMC-1000) | 1 | 培地、薬品保管のため |
| 実習 | ピペット洗浄器 (島津、SUS-100PN) | 1 | 実験器具の洗浄のため |
| 実習 | 水浴インキュベーター (島津理化 SBAC-11A) | 20 | 培地の保温のため |

(微生物学実習-2)

| | | | |
|--------------|------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 生体防御学講座 大橋 綾子 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 生体防御学講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分・時間数 | 実習 18 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |

・ 一般目標 (GIO)

微生物の薬剤耐性の獲得機構を理解するために、代表的な細菌の遺伝子伝達法を習得する。

・ 到達目標 (SBO)

1. 細菌の形質転換、接合、形質導入を実施できる。
2. 細菌の、薬剤に対する感受性・耐性などの形質の変化を評価できる。

・ 講義日程

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|---------|--|------------------------|
| 11/17 | 月 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | 全体説明、培地の調製 |
| 11/18 | 火 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | 枯草菌の形質転換 |
| 11/19 | 水 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | 大腸菌の接合 |
| 11/20 | 木 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | M13 ファージによる大腸菌の形質導入(1) |
| 11/21 | 金 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | M13 ファージによる大腸菌の形質導入(2) |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|---------|--|----------|
| 11/25 | 火 | 3・4 | 生体防御学講座 | 大橋 綾子 教授 白石 博久 講師 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 | まとめと後片付け |

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|------------------------------------|---------|------------------------|------|
| 参 | スタンダード薬学シリーズ4 「生物系薬学Ⅰ 生命体の成り立ち」 | 日本薬学会 編 | 東京化学同人 (定価 4,100 円) | 2005 |
| 参 | ベーシック薬学教科書シリーズ15「微生物学・感染症学」 | 土屋 友房 編 | 化学同人 (定価 4,000 円) | 2008 |

・成績評価方法

学習態度、実習レポート、口頭試問などから総合的に判断する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|-----------------------------------|----|----------|
| 実習 | オートクレーブ (トミー精工、ES-215) | 6 | 培地の滅菌 |
| 実習 | 小型恒温水槽 (東京理化工機、NTT-2000) | 35 | 試薬等の保温 |
| 実習 | 精製水調製装置 (オルガノ、ピュアライト PRO-0100) | 1 | 精製水の調製 |
| 実習 | 大型恒温振とう培養機 (タイテック、BR-3000LF) | 2 | 細菌の培養 |
| 実習 | 薬用保冷库 (三洋電機、MPR-414F) | 1 | 試薬等の保存 |
| 実習 | 乾熱滅菌器 (三洋電機、MOV-212S) | 2 | 器具の滅菌・乾燥 |
| 実習 | 全自動超音波ピペット洗浄器 (島津理化、SUS-100PN) | 2 | 器具の洗浄 |
| 実習 | 電子天秤 (アズワン、ASP-202F) | 8 | 試薬の秤量 |

(生化学実習-1)

| | | | |
|--------------|-------------------|--------|---------|
| 責任者・コーディネーター | 機能生化学講座 中西 真弓 准教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 機能生化学講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分・時間数 | 実習 18時間 |
| 期間 | 後期 | | |

・一般目標 (GIO)

アミノ酸、タンパク質、糖質の定量・定性分析により化学的性質を理解し、測定機器の使い方を学ぶ。ATP合成酵素のプロトンポンプ活性の測定と阻害剤の解析を行うことにより、酵素の取り扱いを習得し、構造と機能、阻害剤の作用機構を理解する。

・到達目標 (SBO)

1. 糖質、アミノ酸、タンパク質の定性および定量試験法を実施できる。
2. タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。
3. 代表的な酵素の活性を測定できる。

・講義日程

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|---------|------------------------------------|-------------------------------|
| 10/28 | 火 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | 実習概説、糖の定性分析 (薄層クロマトグラフィー) |
| 10/29 | 水 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | 酵素活性測定 (アミラーゼ) |
| 10/30 | 木 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | タンパク質の定量 (Bradford 法) |
| 10/31 | 金 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | タンパク質の分離、分子量の測定 (SDS 電気泳動) |
| 11/4 | 火 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | ATP合成酵素に対する阻害剤の影響 |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|-----|---------|------------------------------------|----------|
| 11/5 | 水 | 3・4 | 機能生化学講座 | 中西 真弓 准教授 後藤 奈緒美 助教 関谷 瑞樹 助教 | まとめと後片付け |

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|---|---------|------------------------|------|
| 参 | スタンダード薬学シリーズ4 第2版「生物系薬学Ⅱ生命を ミクロに理解する」 | 日本薬学会 編 | 東京化学同人 (定価 5,500 円) | 2010 |

・成績評価方法

実習態度、実習レポートなどから総合的に評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|---|----|-----------------------|
| 実習 | マイクロピペット (ニチリョー) | 50 | 試薬の秤量、分注 |
| 実習 | ドラフトチャンバー (島津理化 CBR-Sc15-F) | 4 | アルカリ溶媒の使用 |
| 実習 | 精製水調整装置 (ミリポア、Elix UV10) | 1 | 精製水の調製 |
| 実習 | 製氷機 (ホシザキ、FM-120F) | 1 | 試薬・試料の保冷 |
| 実習 | 冷凍冷蔵庫 (三洋電機、MPR-414F) | 1 | 試薬・試料の保管 |
| 実習 | ブロックインキュベータ (三洋電機、MCO-18AIC) | 5 | 糖の発色反応、タンパク質の変性 |
| 実習 | 分光光度計 (島津、UVmini 1240) | 15 | 吸光度測定 (糖の定量) |
| 実習 | マイクロプレートリーダー (バイオラッド、iMARK 168-1130JA) | 2 | 吸光度測定 (タンパク質の定量) |
| 実習 | 電源付き泳動槽 (アトー、AE-7300N) | 15 | タンパク質の分離 |
| 実習 | 振とう機 (シェーカー) (レシプロシェーカ ー、NR-10 + 振とう台 SR-4030、タイテック) | 2 | タンパク質の染色 |
| 実習 | 蛍光光度計 (日立、F-2500) | 5 | 蛍光測定 (プロトン輸送活性の測定) |
| 実習 | ホットプレート | 2 | 糖の発色反応 |

(生化学実習-2)

| | | | |
|--------------|--------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 細胞病態生物学講座 北川 隆之 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 細胞病態生物学講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分・時間数 | 実習 18 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |

・一般目標 (GIO)

培養細胞の取り扱い方や観察のための基礎的な手技を習得し、その原理に関して理解する。また、SDS ポリアクリルアミド電気泳動によるタンパク質の分離とウエスタンブロット法による生体機能性分子の微量検出法を体験し、その応用に関して知識を深める。

・到達目標 (SBO)

1. 電気泳動法を体験し、その原理および応用例を説明できる。
2. 免疫化学的測定法を体験し、その原理を説明できる。
3. 動物細胞を継代及び観察し、細胞内小器官の構造と機能を説明できる。

・講義日程

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|-----------|--|---------------|
| 10/16 | 木 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | 実習準備及び生体試料の調整 |
| 10/17 | 金 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | タンパク質の分離と膜転写 |
| 10/21 | 火 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | タンパク質の検出 |
| 10/22 | 水 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | 培養細胞の継代操作 |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------|----|-----|-----------|--|-----------|
| 10/24 | 金 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | 培養細胞の継代操作 |
| 10/27 | 月 | 3・4 | 細胞病態生物学講座 | 北川 隆之 教授 奈良場 博昭 准教授 佐京 智子 助教 川口 未央 助教 | 培養細胞の継代操作 |

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------|----------|------------------------|------|
| 参 | 細胞生物学 | 永田 和宏 他編 | 東京化学同人 (定価 2,400 円) | 2006 |

・成績評価方法

レポートやテストなどから総合的に判断する。

・予習復習のポイント

1. 細胞生物学1の授業内容を復習しておくこと。
2. レポート・課題は指示した期日までに必ず提出すること。
3. 実習は班ごとに全員協力して行うが、各実習項目ごとに分担を決めて行うこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|---|----|-------------|
| 実習 | 学生実習用顕微鏡(オリンパス、CX31N-11) | 80 | 細胞組織染色標本の観察 |
| 実習 | ドラフトチャンバー(CBR-Sc15-F、島津理化) | 2 | 試薬の廃棄 |
| 実習 | 倒立顕微鏡(CKX31N-11PHP、オリンパス) | 12 | 細胞培養 |
| 実習 | ブロックインキュベーター(MCO-18AIC、三洋電機) | 5 | タンパク質の変性 |
| 実習 | CO2 インキュベーター(MCO-18AIC、三洋電機) | 2 | 細胞培養 |
| 実習 | 振とう機(シェカ-) (レシプロシェーカー NR-10+ 振とう台 SR-4030、タイテック) | 5 | 転写膜の処理 |
| 実習 | 転写装置(セミドライ)(AE-6678、アトー) | 5 | タンパク質の転写 |
| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |

| | | | |
|----|--|----|------------|
| 実習 | 精製水調製装置 (Elix UV35 +350L タンクのセット、ミリポア) | 1 | 試薬の調整 |
| 実習 | 製氷機 (FM-1000AWG-LAN-T、ホシザキ) | 1 | サンプルの保管など |
| 実習 | 分光光度計 (UVmini1240、島津) | 10 | タンパク質の定量 |
| 実習 | クリーンベンチ (BLB-1606、エアテック) | 7 | 細胞培養 |
| 実習 | 冷凍冷蔵庫 (MPR-414F、三洋電機) | 1 | 試薬の保管など |
| 実習 | オートクレーブ (稼動型 ES-215、トミー精工) | 1 | 培養器具の滅菌 |
| 実習 | 乾熱滅菌器 (MOV-212S、三洋電機) | 2 | 培養器具の滅菌 |
| 実習 | ピペット洗浄器 (SUS-100PN、島津理化) | 1 | 培養ピペットの洗浄 |
| 実習 | 冷蔵ショークース(薬品用) (MPR-312D、三洋電機) | 1 | 試薬の保管など |
| 実習 | 冷却遠心機 (LX-141、トミー精工) | 1 | 培養細胞の遠心分離 |
| 実習 | 電源付き泳動槽 (AE-7300N、アトー) | 15 | タンパク質の電気泳動 |
| 実習 | 電源装置 (AE-8135、アトー) | 5 | タンパク質の膜転写 |